



たもんじ交流農園 便り

Vol.7 2018年10月号

“たもんじ交流農園便り”は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。



たもんじ交流農園事業は、平成30年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



新シリーズ

うちの畑じまん 第1回 西本さん 鈴木さん



この夏、私たちの畑では、寺島なす・オクラ・ミニトマト・シシトウ・ハーブ（シソ、パセリ、バジルなど）を作りました。初心者なので苗がいび育てから支柱を立てたり、種を植えても何にも出てこなかったりと失敗もありましたが、そういったことを含めて、沢山収穫できました。

寺島なすは初めて食べましたが、普通のナスと比べて味が濃く甘みがあって美味しかったです。オクラは小さいうちに取らないとすぐ成長し、硬くて食べられなくなるのであまり食べることができず残念でした。他はモリモリ育ってくれ特にシソはこの夏人生で一番シソを食べたんじゃないかと思う位、サラダに入れたりパスタの具にしたり天ぷらにしたりといっぱい食べました。シソは免疫力増加、血液サラサラなど栄養効果が高いようなのでかなり健康になっていると期待しています♪(^-^)(鈴木さん記)。

何も無い更地から苗や種を育て上げる楽しさや大変さ、有り難さを実感致しました。実の生まれる喜びと自分たちで作った美味しさを味わいました。数十年後に、地球温暖化の暑さと、人口増加の食糧難で、東京に住めない日が来たとしたら、主人の北海道に移住して自家栽培をする良い練習になります。これからも、楽しく、美味しい畑活動をさせて頂きたいと思ひます。宜しくお願い申し上げます(西本さん記)。



新シリーズ

新江戸野菜料理レシピ 第1回 高木桂子さん



今年は酷暑の中、寺島ナスを4鉢育てて、焼いて揚げて重宝しました。秋口に入りナスも息切れしたのか、さらに小ぶりで皮も薄く感じたので、油を使わない簡単調理の小鉢を3品作ってみました(高木さん記)。

① 寺島ナスの生姜醤油

縦半分になすを切る。身の側に斜めに交差して包丁を入れる。模様なので上の方だけ。レンジでチンして生姜醤油で頂く。

② 寺島ナスの辛し和え

ナスは縦半分になり、そのまま縦長に細切り。レンジで2分ほどチン。辛し1・醤油2・ごま油2で和える。

③ 寺島ナスの古漬け風

ナス、キュウリは薄切りで塩もみ。タクアンも小口切り、混ぜれば出来上がり。

寺島ナス簡単小鉢3品



たもんじ交流農園の開発に携わって

インタビューされる人: 矢下さん
インタビューする人: 中西さん

中西 たもんじ交流農園の開発に参加したきっかけとは？
矢下 もともと江戸野菜の復活は、まちおこし委員会のテーマだったから自然と農園造りに入っていった感じだったね。でも最初はこんなんで大丈夫かと随分不安だったよ。何とか形になってホントよかったな。

中西 矢下さんが農園造りで大事にしてきたこととは？
矢下 農園を造るといっただけでなく、その後の農園全体に対するケアが大事だね。ここ最近、農園全体が雑然としてきているように思うんだけど、てらたま協議会全員がもっと足を運んで、ちょっとずつでも草取りをすとか、細かな心配りが必要だと思うな。それにいつも作業している人が、同じメンバーで年寄りばかりだよ。もっと若い人に一緒にやって欲しいんだがなあ。

その辺りが、農園の雑然とした状態に表れているのかもしれないね。あのおよ、思うんだけどよ、皆がちょっとずつでもお手伝いできるような、興味のある人が気軽に参加できるような、そんな仕組みというか場になるといいんだけどなあ。

中西 どうしたらいいですかね。

矢下 色んな問題点がでてきたというのは、非常にいいことだと思うよ。みんなで良く話し合っ、何とかよくしていこうという気持ちを伝え合うのが大事なんじゃないかな。農園便りにもそういうことをちゃんと載せて、皆で話し合うきっかけになるといいんだけどね。

中西 今日は本当にありがとうございました。これからも宜しくお願いいたします。



今月・来月のたもんじ交流農園スケジュール

ますます楽しい たもんじライフ！ 今後も月一で講演会かイベントを企画して参ります！！

11/4(日) 11～2時	秋の収穫祭&ポップコーンパーティ	秋の新鮮野菜の収穫と、夏に採ったとうもろこしを乾燥し、ポップコーンを作ります。前回の収穫祭で大好評の「肉の塩釜焼き」も増やします！
11/24(日) 2～4時	江戸野菜の歴史と農産物生産・販売プランディング戦略を学ぶセミナー	
	中小企業診断士城東支部とのコラボ企画！講演①「農産物の生産と販売戦略・プランディングの特徴について」（講師: 荒木農園代表 荒木大輔氏）、講演②「江戸野菜とおせんざいばた（東向島地区の歴史）」（講師: 高木新太郎氏）、会場: 多聞寺寺務所、参加費 1,000円、要申込み。定員上限有り。講演後希望者による懇親会も有り。	

寺玉協議会より **江戸に浸かる。にどっぷり浸かって** その1

9/29(土)、30(日)の両日、台風が近づく天候の中、向島中学校跡地にて「江戸に浸かる。躍る・魅せる・感じる～あなたに夢」が開催されました。生憎の雨から、校庭で予定していた屋台やワークショップは体育館前や2階に場所を移したものの、初日は青果リレーとサンバによって開まちし、夜には「寺島茄子之介」音頭で盆踊り、影絵や芸妓さんの踊りも素晴らしかったです。二日目は体育館2階で江戸の子供遊び、落語や殺陣や大道芸もありました。×は参加者全員での大合唱!! 参加した誰もが忘れられない2日間となりました。三回目となる今年、雨中の青果リレーに18団体が参加したことや、地元の桜堤中学校美術部に和太鼓部も加わったこと等、地域の連携や繋がりをより広げることができたものと確信します。ご協力頂いた方々、ご来場の皆さまに心より感謝申し上げます。有難うございました。(中西記)



×は参加者全員での大合唱!! 参加した誰もが忘れられない2日間となりました。三回目となる今年、雨中の青果リレーに18団体が参加したことや、地元の桜堤中学校美術部に和太鼓部も加わったこと等、地域の連携や繋がりをより広げることができたものと確信します。ご協力頂いた方々、ご来場の皆さまに心より感謝申し上げます。有難うございました。(中西記)



たもんじ交流農園便り
No.7-般 2018.10.15 発行
題字 田村風來門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

<http://www.teratamakyougikai.org/diary2.html>

問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

セブン・イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。